

議会 だより

平成28年
第3回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

平成28年田原本町議会「第3回定例会」が9月5日から15日まで11日間の日程で開かれました。開会日の9月5日には森町長が提出議案について説明。会期中、各議案について慎重に審議が行われ、9月15日に閉会しました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○平成27年度田原本町健全化判断比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき当該年度の健全化判断比率の4指標について、実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字で該当せず、実質公債費比率は6.0%、将来負担比率は39.1%となり、前年度と比較すると、実質公債費比率は0.5ポイント、将来負担比率は4.7ポイントそれぞれ改善したことの報告

○平成27年度田原本町資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき当該年度の水道事業会計及び公共下水道事業会計に關する資金不足比率は該当がなかったことの報告

○平成27年度田原本町一般会計予算継続費精算報告書について

中継施設建設事業費の継続費の年度が終了したことから、地方自治法施行令第145条第2項の規定による議会への報告

《可決・認定した議案》

○平成27年度田原本町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について（賛成多数）

平成27年度の未処分利益剰余金6977万7376円のうち、1200万円を資本金に組み入れるもので、地方公営企業法第32条第2項の規定により議会の議決を求めもの

○平成28年度田原本町一般会計補正予算（第3号）（全員賛成）

自治体情報システム強靱性の向上のための既存機器等設定及び新規分機器等借上に要する経費、介護ロボット導入促進事業補助金、水と農

地活用促進事業の井堰及び農道整備費などを増額補正するもの

○平成28年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）

県単位化に伴う標準保険料率算定などに必要なデータを提供するため国民健康保険システムを改修する経費を増額補正するもの

○交流促進施設（道の駅）造成・唐古12号線道路改良工事の請負契約締結について（賛成多数）

唐古地内の交流促進施設（道の駅）整備用地の造成工事及び擁壁工事と、その南側に位置する町道唐古12号線の改良工事で、契約金額7149万6000円で、株式会社堂浦土木と工事請負契約を締結するもの

○財産の取得について（全員賛成）

田原本町清掃センターで使用する油圧ショベルを、取得価格669万6000円で、コマツ建機販売株式会社奈良支店より取得するもの

○指定管理者の指定について

（全員賛成）

田原本町ふれあい農園（八尾、秦庄地内）の指定管理者に、奈良県農業協同組合を指定し、指定の期間を平成28年10月1日から平成33年9月30日までとするもの

○天理市との定住自立圏形成協定の締結について（全員賛成）

国の定住自立圏構想推進要綱に基づき、天理市との間において定住自立圏形成協定を締結することについて議会の議決を求めるもの

○平成27年度田原本町各会計歳入歳出決算の認定について（賛成多数）

地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付すもの

委員7名で構成される決算審査特別委員会を設置し、各会計歳入歳出決算及び関係する議案について審査を行った。（決算の詳細は広報10月号に掲載されています。）

《提出された意見書の概要》

第3回定例会で提出された意見書は以下のとおりで、不採択となりました。

意見書	提出議員
チーム学校推進法の早期制定を求める意見書（賛成少数）	松本美也子議員
「部落差別の解消の推進に関する法律」（案）の廃案を求める意見書（賛成少数）	吉田容工議員

各委員会審査の状況 (質疑から抜粋)

《総務文教委員会》

質問 平成28年度田原本町一般会計補正予算(第3号)について、自治体情報システム強靱性の向上との説明であるが、具体的には何をするのか。今後の負担はどうなるのか。

回答 県が平成29年度導入する情報セキュリティクラウドに加入するため、本町の準備に要する経費。

導入後の基本的な経費は年間約100万円であり、これに本町独自の仕様による追加料金が発生する。

質問 天理市との定住自立圏形成協定の締結について、天理市との連携の仕方は。また、天理市との協定により橿原市等他の近隣市町との連携への影響は。

回答 相互に役割分担、連携を図り圏域に必要な都市機能及び生活機能を確認し、地域の特性を活かした魅力あふれる圏域を形成することを目的とするもので、連携する具体的な事業は、「公共施設相互利用促進事業」、「図書館蔵書充実事業」、「災害時相互応援体制整備事業」他で協定を行う。

また、他の近隣市町と個別事業で

連携を行う事に問題はない。

経過報告 「中学校給食の早期実施を求める請願」の経過について、自校方式での実施に向け、8月に建築士を配置し、中学校敷地内での給食施設の建設場所の選定、特に田原本中学校では旧第1体育館跡地を含めて検討を進めている旨の報告を受けた。

《厚生建設委員会》

質問 平成28年度田原本町一般会計補正予算(第3号)について、事業所に補助を行う介護ロボットとはどのようなものか。

回答 介護施設の利用者がベット等からトイレや車イスなどへの移乗介護を支援するロボット、ベッド上や周辺の利用者の動きを感じし異常があれば直ちに、パソコンやスマホに情報を送る見守りロボット等で、介護従事者の負担軽減を図るもの。

質問 交流促進施設(道の駅)造成・唐古12号線道路改良工事の請負契約締結について、雨水調整池施設とはどのようなものか。

回答 奈良県の指針により、一定の面積以上の開発については、洪水の発生を防止するため雨水の流出を抑制する調整池等の設置が必要とされている。今回327立方メートルの雨水貯留施設を駐車場下に埋設を行

うもの。

担当課から報告 交流促進施設(道の駅)について、国道24号からの進入路となる交差点改良に伴う信号機の設置については奈良県警に要望書を提出し働きかけを行っている旨、道の駅の指定管理者について、準備段階からオープンできる体制づくりを進めて行く必要があるため、指定管理候補者として、事業者の選定を進めたい旨の報告を受けた。

《唐古石鍵遺跡整備検討特別委員会》

担当課から報告 今年度は、遺構展示施設の建築工事と展示施設周りの擁壁工事など、及び復元整備ゾーン西側の水路工事、並びに園路の舗装工事を行う予定であり、遺構展示施設の建築工事については、次回定例会に議案の提案を予定している。

また、史跡公園整備地の視察を行い、整備の進捗状況等について、現地で報告を受けた。

《清掃工場建設検討特別委員会》

質問 財産(油圧ショベル)の取得について、現在使用しているホイールローダーはどうするのか。

回答 町清掃センターにて引き続き使用したい。一般家庭等から持込まれるごみの移動作業等に使用する。**担当課から報告** やまと広域環境衛

生事務組合が施工中の新焼却施設建設の進捗状況については、工場棟の外壁部分に着手されており、並行して焼却炉、発電設備、集じん機などの機械設備の備え付け作業が行われているとのこと。

また、本施設の現地視察を行い、整備の進捗状況等について、現地でも報告を受けた。



▲完成イメージ図

審議内容を見ることができません

町ホームページに、本会議の審議内容を掲載しています。

※平成19年第1回臨時会から平成28年第2回定例会まで掲載しています。

町政を問う



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

辻 一夫 議長

本町は、昭和31年9月に多村、川東村、平野村、都村、田原本町の5カ町村が合併し本年度60周年を迎えました。昭和の時代は宅地開発が盛んに行われ人口が増加しましたが、現在では少子高齢化が進み人口も微減傾向であります。国や自治体は地方創生に取組み、雇用拡大や少子化対策を模索するなど大きな変換期を迎えております。町議会といたしまして、元気で皆さんが安心して暮らせるまちづくりに取組んで参ります。さて、本定例会では7名の議員から一般質問があり、また意見書2件と議案8件について、慎重に審議いたしました。

小走 善秀 議員

(1)公共工事の入札について、本町では入札前に最低制限価格が公表されており、多くの参加者が最低価格で入札し抽選で落札者が決まる事が多

く、また設計規模の大きい入札では、条件を付すことにより参加者が限られ落札率が高い傾向であり、競争性が発揮されているか疑わしいことから、現状の入札方法の見直しを求めた。(2)ごみ収集について、過去に月曜日は休日が多く、公平性の目的で休日の収集を要望し、ハッピーマンデーのみ収集が行われ、振替休日は収集が無い。今後皆が混乱しないよう一定にして周知されたい。

吉川 博一 議員

介護施設に対し、介護ロボット導入の補助金を交付するため補正予算を可決致しました。導入予定の介護ロボットとは、ベッドから車イスなどに乗り移る際の介護を支援するロボット、寝ておられる方をセンサー等により見守りを行い、端末により、様子が確認できたり、また異常があれば情報を送り、介護従事者に知らせる見守りを支援するロボットなどで、町内の3事業者に補助が行われる予定です。介護現場での人材不足、介護従事者の腰痛など身体への負担軽減への効果によりサービスの向上が期待されます。

牟田 和正 議員

特別委員会では唐古・鍵遺跡史跡公園整備の進捗状況について説明を

受けた後、現地視察が行われました。史跡公園の整備については、計画的に進められていますが、公園の整備担当、開園後の公園の維持管理担当、近接する交流促進施設(道の駅)の担当課がそれぞれ異なり、説明を受ける中で、連絡調整が充分でない印象を受けました。町の重要な事業であり多くの住民が期待しています。縦割り行政の弊害が出ることの無いよう、担当間の連携に向けた体制作り、事業の進め方について十分配慮するよう求めました。

阪東 吉三郎 議員

清らかな水を取り戻し美しい自然と人々が健康で快適な生活環境を作るため生活排水を下水道に接続することが大切であります。本町は接続率向上のためどのように推進するか尋ねました。供用開始区域の家庭を一軒一軒「公共下水道への切り替えのご案内」を配布し、町ホームページに「供用開始区域図」を掲載するとともに「下水道の概要」及び下水道に関するパンフレット「水洗化のすすめ」を常時発信しており、今後各戸別訪問により啓発にさらに努めるとの回答を得ました。

森井 基容 議員

決算審査特別委員会では特に昨今

のコンピュータ関連のセキュリティ問題について本町の取組みについて確認し、今後も万全の態勢を整えていくことを確認しました。

二つの特別委員会に関連して、通常の審査以外に、本町が取組みを進める大型案件である唐古・鍵遺跡史跡公園整備及び矢部に建設された中継基地、御所市に建設中の新清掃工場の工事等の進捗状況について視察をしました。それぞれ本町の大きな使命を担う施設となりますので、今後の開業に向けての取組みを注視していきたいと思えます。

安田 喜代一 議員

委員会で唐古・鍵遺跡史跡公園の現地視察を行いました。工事の進捗状況については、約3分の2が施工済みであり、今年度は大型建物跡の遺構の展示施設の建設工事に着工されます。また、広大な園内の雑草を効率的に処理するため、乗用の草刈り機が購入され活用されています。ソフト面では、国の補助金を活用し、小学生を対象とした遺跡活用プログラム(副読本)の作成、観光アプリ開発、観光プロモーションビデオ作成、楼閣くんキャラクター商標登録などの事業に取組まれ、開園に向け準備が進められています。

森 良子 議員

一般質問にて、唐古・鍵遺跡史跡公園の国道を挟み西側の資材置き場について、ここは産廃業者のグループ会社の施設ですが、「重機で金属を潰したり運んだりする作業音で近隣の住民はテレビの音や会話が聞こえないとの苦情がでているが、町としてどう対応しますか？」と質問し「騒音レベルを測ります。」との答弁。又、「自主防災組織補助金交付金は、同一年度内において一度しか交付申請ができないが、予期せぬ事態に対応できないのでは？」と質問し「来年度から改善に向け研究したい。」との答弁でした。

古立 憲昭 議員

いつでも起こり得る災害について人的被害及び経済被害を軽減し、安心・安全を確保する為に、自助・共助・公助による取組みが求められている。「災害に強いまちづくり」を目指し公助について、①重要拠点施設の耐震性、②ライフライン施設、特に上下水道施設の耐震性、③事前防災の実践・拡大防止・迅速な復旧復興、④避難所の質の向上、4点についての本町の考えを質問。また被害発生後住民の安心と行政の効率を高める被災者台帳「被災者支援シス

テム」の導入、運営について質問しました。

西川 六男 議員

聴覚に障がいのある方が役場で相談等をされる場合、十分に意思疎通をするためには7日前に町長に手話通訳者の派遣を依頼しなければなりません。

障がいのない方は、自分の都合のよい時に来て相談できます。

先般、聴覚障がいの方が都合のよい時間に手話通訳者の派遣依頼をされずにマイナンバーの申請に來られました。十分な説明が得られず申請できませんでした。役場には手話のできる職員がいなかったため、筆談で対応しています。

手話通訳のできる方を常設する事、職員や町民に手話を学ぶ機会を充実する事を提案しました。

竹邑 利文 議員

中学校給食については、各中学校の特色を活かし、あらゆる方策を駆使し、難題を解決して早期実施に向けて取り組んでいる旨の答弁を得た。

ふるさと納税制度に対する本町の現状と取組みについて質した。返礼品の充実競争が過熱し、本来の制度の趣旨からの逸脱も指摘されるが、本町のオンリーワンを創造し税収増

地域振興を期待する。

あいのりタクシー「ももたろう号」

の町外へのルート拡大について質し、広域連携に向けた体制づくりの検証等、今後の検討課題との答弁を得た。潤いの町、田原本に向け前進したい。

吉田 容工 議員

平成27年度決算には、年度終了後、経費の未払い分が判明し、実態調査の上、会計閉鎖の5月末までに支払いをしたものが含まれていました。単純な支払い漏れではなく意図的に支払いを放置したもので悪質です。六月に行った吹奏楽委託料約80万円がほぼ1年後の4月に支払われたなど、約20件400万円も該当していました。町の信頼を失墜しただけでなく、吹奏楽団等の運営に大きな損害を与えました。すでに、担当者等の処分はされていますが、不正な処理であり反対しました。議会が承認したことは残念です。

植田 昌孝 議員

厚生建設委員会では、本会議において町長より議案の概要説明が行われますが、審査を行うには詳しい説明が不可欠で、議会の最も重要な使命であり職責である議案審査について、書類不備があったことを指摘しました。又唐古・鍵遺跡史跡公園の

現地視察に参加し、工事の進捗については約80%との事で、近隣に建設計画中の交流促進施設(道の駅)の視察も行いました。清掃工場建設検討委員会では、今後のランニングコストの見込みの報告を求め、御所市に建設中の新清掃工場の現場視察に参加し説明を受けました。

松本 美也子 議員

食べられる状態で廃棄される「食品ロス」の削減について、町民、事業者も一体となった取組みが必要との考えから、①学校給食等における取組みについて②各家庭への普及・啓発について③フードバンクへの支援・活用について④民間事業者への食品ロス削減への普及・啓発について、4点と田原本町のオリジナルの婚姻届及び出生届の作成について質問しました。

また、唐古・鍵遺跡史跡公園整備の現地視察に際して、ベビーカーや車椅子等あらゆる来園者に配慮した(ユニバーサルデザイン)公園整備を要望しました。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、12月上旬に開催します。

問い合わせ先

議会議事事務局(☎34・2119)